

箕面市立みのお市民活動センター指定管理者候補者選定会議 議事概要

1. 会議の開催状況

- (1) 開催日時 令和元年9月20日(金)午後1時から午後2時30分
- (2) 開催場所 箕面市役所本館2階特別会議室
- (3) 出席者 小林誠一(人権文化部長)【会長】
北村清(総務部長)【副会長】
浅井文彦(市民部長)
細見三英子(有識者)
柳原健治(有識者)
- (4) 事務局 人権文化部生涯学習・市民活動室
- (5) 応募者 特定非営利活動法人 市民活動フォーラムみのお

2. 議事概要

- (1) スケジュール及び評価等について
事務局より下記のとおり説明を行った。
 - ・ 応募者は1団体であったが、当会議において指定管理者としての適否を判断する。
 - ・ スケジュール
 1. 応募者によるプレゼンテーション(15分)
 2. ヒアリング(15分)
 3. 採点、集計
 4. 合議による選定
 - ・ 採点方法
応募書類及びプレゼンテーション・ヒアリングの内容を踏まえて採点する。評価者一人あたりの持ち点は300点とする。
- (2) 提案内容のプレゼンテーションについて
応募者である特定非営利活動法人市民活動フォーラムみのおよりプレゼンテーションが行われた。
- (3) ヒアリングにおける主な質疑について

(質問) まちライブラリーの設置について説明してほしい。
(回答) 本を持ち寄って交流するスペースのことである。まちライブラリーの事務局に申請し、ホームページに掲載してもらう。今後、もりのみや

キューズモールにあるまちライブラリーのようなものを目指したい。

(質問) 委託料が増額されている理由は何か。

(回答) 消費税率及び人件費の上昇、ごみ処理有料化に伴うものである。

(質問) 人件費が400万円ほど増額されている理由は何か。

(回答) 5、6年前の経営危機より緊急避難的に人件費を下げた経緯があった。その後、この5年間で人件費(最低賃金)は15%上がっているが、その間給与水準を変更していなかった。

(質問) 消費税率上昇による影響はどれくらいか。

(回答) 20~30万円と見込んでいる。

(質問) 人件費の15%アップ分と消費税の30万円増以外の増額分は何か。

(回答) 新規事業に係る経費である。

(質問) 利用料金の減免額はどれくらいか。

(回答) 減免額は約20万円である。

(質問) 従業員のボランティア活動について。ボランティア休暇はないのか。

(回答) 就業規則にはボランティアに特化した休暇はないが、組織としてボランティア活動を促進する立場にあるので、ボランティアの希望があれば、業務に関連するとみなして研修に位置づけ、業務を調整して行ってもらっている。

(質問) セクハラ防止について。就業規則にセクハラの記事はないのか。

(回答) セクハラという言葉はないが、就業規則にはセクハラを想定している条文がある。

(質問) 苦情について。具体的にどんな苦情があるのか。どういう対策をとっているのか。

(回答) 最近はほとんどない。苦情があればそのつど適切に対応している。

(質問) 公共空間の活用について提案されている。フォーラムみのおとして市民活動を醸成するにあたって、市民活動の観点から箕面市がどのような街に成熟していったらいいか考えを聞かせてほしい。

(回答) フォーラムみのおが立ち上がったときからミッションは変わらず、市民が自ら自分たちの街を良くしよう、自立できる社会にしようということだった。そういう観点で市民活動の応援をしていきたい。

具体的には、いろんな活動をしている元気なシニアの方がたくさんおられるので、シニア層に向けた市民活動の支援をしたい。また、若い世代でボランティアに関心を持っている人も多いので、センターの立地をうまく利用して、いろいろな人が主体的に関われるようにしたい。

(質問) 夢の実支援金について。10代から30代を対象とした「学生・若者応援！コース」への申請は、新規で立ち上げた昨年度と今年度は「ゼロ」になっている。市民活動の担い手の高齢化が問題になっているなかで、広報活動など、若い世代の人たちへに対する取り組みを何か考えているか。

(回答) 若い世代がいきなり団体に入るのは敷居が高いので、事業計画で提案しているv-info、promoなど、個人でもできるボランティアや興味のあるところ取材に行ってもらうことを通して、若い世代に達成感を得てもらいたい。大勢を対象にするのは難しいが、一人ひとりをサポートできたらと考えている。

(質問) 災害時のボランティアセンター設置の件は協力してもらえるか。

(回答) 協力する。ボランティアセンターを設置する社会福祉協議会とは普段から連携している。

(質問) 提案の公共空間活用勉強会について。令和2年度中に勉強会を開始するとあるが、スピード感をもって、かやのさんぺい橋の活用を進めてもらいたい。事業の受け皿となってやってほしい。

(回答) 関係機関との調整が必要となってくるが、単なる勉強会だけではなく、社会実験としてやっていきたい。

(4) 各評価者の主な意見

- ・ 委託料の増額の内容を確認する必要がある。
- ・ 特定提案にある社会的課題の解決に期待している。市民活動センターならではの活動に期待している。

(5) 選定会議としての結論

応募書類、プレゼンテーション・ヒアリングに基づき評価した結果、評価

点数は下記のとおりとなった。

評価点数 216.6点 / 300点

上記点数に基づき判断した結果、特定非営利活動法人市民活動フォーラム
みのおが箕面市立みのお市民活動センター指定管理者候補者として適任で
ある。